

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年2月14日 (2008.2.14)

【公表番号】特表2003-519715(P2003-519715A)

【公表日】平成15年6月24日 (2003.6.24)

【出願番号】特願2001-551157(P2001-551157)

【国際特許分類】

C 0 9 K 3/10 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 3/10 E

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月25日 (2007.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 水性媒体中のビニルポリマーの分散液をベースとする 1 成分シーラントにおいて、シーラントは湿潤状態で実質的に揮発性有機化合物 (VOC) を含有しておらず、乾燥状態で粘着性であり、かつそのガラス転移温度 T_g が 10 よりも低い少なくとも 1 つの相からなる、1 成分のシーラント。

【請求項 2】 乾燥状態で 25 において $5 \cdot 10^5 \text{ Pa} \sim 5 \cdot 10^3 \text{ Pa}$ 、-10 よりも低い温度において $5 \cdot 10^5 \text{ Pa}$ より小および 60 より高い温度において $5 \cdot 10^3 \text{ Pa}$ より大の範囲の剪断弾性率 G を有する、請求項 1 記載のシーラント。

【請求項 3】 湿潤状態で、その都度シーラント 100 質量部に対して、添加剤 0 ~ 80 質量部によって変性されており、その際、添加剤は揮発性の有機化合物 (VOC) を 3 質量部未満含有する、請求項 1 または 2 記載のシーラント。

【請求項 4】 湿潤状態で 23 において少なくとも $50 \text{ Pa} \cdot \text{s}$ の粘度を有する、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載のシーラント。

【請求項 5】 ビニルポリマーが少なくとも一種のアクリレートモノマーおよび / またはメタクリレートモノマーをベースとするポリマーを含有する、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載のシーラント。

【請求項 6】 湿潤状態でシーラント 100 質量%に対してビニルポリマー 15 ~ 90 質量%を含有する、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載のシーラント。

【請求項 7】 湿潤状態でシーラント 100 質量%に対してビニルポリマー 25 ~ 80 質量%を含有する、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項記載のシーラント。

【請求項 8】 添加剤が、水溶性化合物、無機充填剤、有機充填剤、架橋剤、接着助剤、安定剤、脱泡剤、界面活性剤、乾燥助剤および揮発性有機化合物 (VOC) から選択される化合物を少なくとも 1 種含む、請求項 3 から 7 までのいずれか 1 項記載のシーラント。

【請求項 9】 水溶性化合物が、塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化カルシウム、硫酸ナトリウム、メタノール、エタノール、プロパノール、アセトン、エチレングリコールおよびプロピレングリコールから選択される化合物を少なくとも 1 種含む、請求項 8 記載のシーラント。

【請求項 10】 カートリッジまたはプラスチックバッグ中に含有されている、請求項 1 から 9 までのいずれか 1 項記載のシーラント。

【請求項 11】 5 ~ 50 においてポリオレフィン材料上で少なくとも $5 \text{ N} / 25 \text{ mm}$ の引き剥がし粘着力を有する、請求項 1 から 10 までのいずれか 1 項記載のシーラント

°

【請求項 1 2】 材料の封止および / または接続のための請求項 1 から 1 1 までのいずれか 1 項記載のシーラントの使用。

【請求項 1 3】 少なくとも 1 種の材料がポリオレフィン材料である、請求項 1 2 記載の使用。

【請求項 1 4】 請求項 1 から 1 1 までのいずれか 1 項記載のシーラントにより被覆された材料。

【請求項 1 5】 請求項 1 から 1 1 までのいずれか 1 項記載のシーラントの製造方法において、シーラントの成分を真空下で相互に混合することを特徴とする、シーラントの製造方法。